



発行 森山禎久後援会事務局 〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-1-12 YKビルディング1階A号

TEL 06-6630-8800 Fax 06-6630-9260

東日本大震災で被害に遭われた皆様へお見舞い申し上げます。
 一日も早い復興をお祈り申し上げます。

がんばろう NIPPON



平松市長と森山議員

こんにちは。大阪市議員の森山 よしひさです。三月十一日午後二時四六分に発生した、東北地方太平洋沖地震は、かつてない規模の大地震であり、さらに発生した巨大津波によって多くの町が破壊されました。一万五千人を超える死者、九千人を



被災地を走る大阪市営バス

超える行方不明者を数えています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、同時に、被災者の皆様に、衷心よりお見舞い申し上げます。そして一日も早い復興をお祈りします。

「大阪市は、震災の当日、災害対策本部を立ち上げました。翌日には、毛布や乾パンといった救援物資を市バス2台に乗せて被災地入りしています。『大阪市営 緊急消防援助隊』と掲げたバスが、雪の岩手県内を走行する様子を報じた新聞もありました。道路の両脇には、瓦礫が積み上がっている、生々しい写真です。被災地と大阪市は、直線距離にして800キロメートルほど離れています。が、被災した方々は、『大阪市』と書かれたバスや救援物資、職員の腕章などを見て、援助部隊が遠くから

来たのを知り日本中が支援に乗り出したことがわかって、非常に勇気づけられたと聞いています」「縁あって、当市の消防局は今なお、釜石市での消防支援を継続しています。国の指示に応じて、堺市の消防と共に緊急消防援助隊として出動し、任務を終えて帰還しようとしたところ、消防車など機材の4分の3を津波にさらわれてしまい手の施しようがないので残ってほしいとの要請を受けたからです。消防車だけでなく、救急車も派遣しています。先日も、行政職を4人派遣し、罹災証明の発行事務などに携わっています」「国もここへきて、ようやく

(2)

気付いて、積極的に指示してくれるようになってきましたが、こういう事態において非常に重要なのは市町村レベルの共助です。というのは、国や府県のような間接

行政の役人ではなくて、大阪市など現場密着型の基礎自治体の役人でないとわからないような住民密着型の行政サービスがたくさん存在します。(市長談)

OSAKAみらい議員団と大阪市長が

国の施策・予算に関する提案(国家要望)に出席しました

6月11日(土)シティプラザホテルにて大阪市長と共に国家要望に出席しました。16項目(震災支援対策や大都市税財源の充実強化等)の最重点課題と8項目(子育て支援施策の充実・中小企業への積極的支援や緊急雇用創出事業の継続等)の重点課題を国に提案しました。

それらの中で大都市税財源の充実強化では大阪市の日本の中でも東京についでの大都市になっています。私達の身近な所でもミナミ・あべのと言った繁華街などがあります。区内でも大企業の本社(クボタ・ニッタ・ジョーシンなど)があります。しかし今の制度では国府に84.3%の税金が行き大阪に残るのはわずか15.7%です。国からの補助金があるために一概には15.7%だけではないですが、大阪市の税金が大阪に用いられる割合が少なく思われます。国と地方の役割分担を明確にし、新た

な租税配分とする必要性を要望しました。

生活保護制度の問題としては地方から来られた人が申請される方もたくさんおられます。人にやさしい街を目指してきた大阪では保護世帯数が多いのは当然の事ですが、高齢者や低所得者の方も安心して暮らせる街です。ゆえに保護費も大きな額となります。被災者に係る保護費の問題も全国的な課題と言われていますが、保護費の4分の1が市の負担となっています。

生活保護は国の責任において全額国庫負担すべきであることも要望しました。



つの委員会を設け 全議員がいずれかの委員

常任委員会とは市の事務の部門ごとに6

ました。

山議員は建設港湾委員会の委員長に就任し

市会役員が決定しました 常任委員会では森

わかりました。また、5月19日に大阪市の

したOSAKAみらい大阪市の議員団に変

人の所属議員が投票で決め 森山議員が提案

を変更しようと20余りの候補の中から9

合大阪市の議員団の名称が心機一転会派名

9名になりました。5月10日民主・市民連

今回の選挙で20名だった会派の仲間が

編集部より

税金のご相談は中企連浪速へ

〒556-0015 大阪市浪速区敷津西2-1-12 YKビルディング1階A号

TEL 06-6630-7200

FAX 06-6630-9260

